



CONTENTS

日本食物繊維学会第28回学術集会のご案内	1
日本食物繊維学会第28回学術集会開催および演題募集のお知らせ	2-4
News 令和4年度日本食物繊維学会市民公開講座の実施報告	4
News 日本食物繊維学会 第27回学術集会報告	5
News 日本食物繊維学会 令和4年度学会賞受賞者の紹介	6
News 日本食物繊維学会 第27回学術集会発表賞受賞者紹介	6
Topics 令和4年度日本食物繊維学会 産学協議会の報告	7
編集委員会より	8

日本食物繊維学会 第28回学術集会のご案内

第28回学術集会長 岸田太郎 (愛媛大学)

新型コロナウイルス感染拡大下、会員の皆様の研究をはじめ多くの活動が長く影響を受けてきたと存じます。そんな中で2年間、第25回学術集会(集会長:十文字女子学園大学・中村禎子先生)、第26回学術集会(集会長:大妻女子大学・青江誠一郎先生)がオンラインで開催され、関係の先生方のご尽力により現状の環境下で最大限の開催をして頂き、昨年の3年ぶりの対面開催であった第27回学術集会(集会長:川崎医療大学・宮田富弘先生、於大妻女子大学)につながりました。このたすきを受けて、第28回学術集会は、第24回学術集会(集会長:静岡大学・森田達也先生)以来の4年ぶりの首都圏以外での開催となります。

本学術集会は令和5年11月4日(土)、5日(日)に愛媛大学城北キャンパスにあります南加記念ホールにて開催します。愛媛大学南加記念ホール(旧愛媛大学記念講堂)は、南加愛媛県人会の寄付金などを基に、昭和30年1月に竣工しました。今年4月には愛媛大学創立60周年記念事業の一環でリニューアルされ、名称も南加記念ホールと改称されています。

11月4日には広島大学柴田重信先生の食物繊維に関わる時間栄養学的なことに関するご講演、静岡大学名誉教授森田達也先生のご研究の総説的なご講演他シンポジウムを企画中です。森田先生にはこれからの食物繊維研究者へのご提言も合わせてお話しいただきます。11月5日には市民公開講座としまして、理事長青江誠一郎先生に基調講演をお願いし、愛媛大学農学部附属ハダカムギ開発研究センター長荒木卓也先生とそのご関連の研究者の皆さんに愛媛の特産物であるハダカムギ研究についてご講演をいただくことを企画しております。未だ新型コロナウイルス感染の拡大の動向を睨みながらではありますが、完全対面形式で、通常通りの懇親会も準備いたしましたと考えております。三連休の最中で、旅程の取りにくいところになってしまい、大変恐縮ですが、旅行のご準備を出来るだけお早めに整えていただき、どうか沢山の皆様がいそいで湯の町松山へお越しいただけますようお願いしております。

日本食物繊維学会第 28 回学術集会開催 および演題募集のお知らせ

第 28 回学術集会の概要は下記のとおりです。

1. 第 28 回学術集会開催のお知らせ

(1) 日 時：2023 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）

(2) 場 所：愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール（〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3）

(3) 日 程：

第 1 日 11 月 4 日（土）

9：00～：一般演題発表

13：00～：評議員会・総会

14：00～：シンポジウム

18：00～：懇親会

（城北キャンパス内、開催可否および詳細は後日連絡いたします）

第 2 日 11 月 5 日（日）

9：00～：一般演題発表

12：30～：発表賞 表彰式

14：30～：市民公開講座

(4) 講演および討論

発表は液晶プロジェクターを用いて行います。本学術集会では、各演題の持ち時間 15 分（発表 10 分、質疑応答 4 分、交代時間 1 分）とする予定ですが、演題申込数によって持ち時間を変更することがあります。PC は Windows（PowerPoint）を用意します。演題の発表日程、および発表、発表データファイル等の詳細に関しては、後日改めてご案内します。

(5) 総会および学術集会受付

受付は開始 30 分前より、愛媛大学南加記念ホール入口ロビーにて行います。当日参加の方は、参加費（講演要旨集込み）をお支払いください。

(6) 参加費

・オンライン事前登録（銀行振込）<http://jdf.umin.ne.jp>（2023 年 7 月 1 日より受付開始。9 月 15 日締切予定）

正会員 4,000 円、学生会員 2,000 円、非会員 5,000 円、懇親会費 7,000 円*（学生 3,000 円）

・当日受付

正会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、非会員 7,000 円、懇親会費 8,000 円*（学生 4,000 円）

*懇親会については開催の可否を含めて検討中です。参加受付開始前までに学会ホームページにてご案内いたします。

(7) 呼び出し、クローク、昼食、駐車場、宿泊等の手配など

- ・会場での呼び出しは行いません。クロークも設置しませんので荷物等は各自で保管してください。
- ・大学周辺には、飲食店やコンビニエンスストアが多数あります。
- ・事務局では宿泊等の斡旋を行いません。交通機関・宿泊の手配はお早めをお願いします。

(8) 学術集会会場への交通案内

愛媛大学城北キャンパスへのアクセスは、以下のホームページをご参照ください。

<https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/>

(9) 新型コロナウイルス感染症予防対策について

- ・当日に、発熱、咳、倦怠感など新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は参加をお控えください。
- ・必ずマスクを着用してください。
- ・会場内での感染症予防対策にご協力ください。
- ・会場内ではソーシャルディスタンスの徹底にご協力ください。
- ・飲食の際は、マスクを外しての会話はお控えください。

2. 一般演題登録要領

(1) 登録期限

2023年9月15日（金）必着のこと

(2) 登録

日本食物繊維学会ホームページより受付いたします。

<http://jdf.umin.ne.jp/>（2023年7月1日より受付予定）

(3) 講演要旨作成要領

ルミナコイド研究 27 巻 1 号、および学会ホームページ（<http://jdf.umin.ne.jp/>）に掲載する予定です。

(4) その他

- 1) 発表者は本学会会員であることが必要です。特に、学生は必ず会員登録を済ませておいてください。
- 2) 演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。
- 3) 発表賞に関する申し込み方法などの詳細は、ルミナコイド研究 28 巻 1 号、および学会ホームページに掲載する予定です。

(5) 学術集会に関するお問合せ先

愛媛大学大学院農学研究科 岸田太郎

TEL: 089-946-9983

FAX: 089-977-4364

email: kishida@agr.ehime-u.ac.jp

(6) 参加登録、演題登録に関するお問合せ先

【日本食物繊維学会第28回学術集会 参加登録・演題登録 窓口（運営事務局）】

メディア・プロモーション・サービス(株) 内

〒110-0015 東京都台東区東上野1-6-10 ARTビル4F

Tel: 03-5816-1055 FAX: 03-5816-1056

E-mail: idf@media-ps.jp

(7) 入会等に関する問い合わせ

(一社) 日本食物繊維学会事務局

江戸クリエート株式会社 内

〒113-0033 東京都文京区本郷3-43-16 コア本郷ビル

E-mail: jdf.office@luminacoids.jp

TEL: 03-3814-1225 Fax: 03-3814-3215

News

令和4年度日本食物繊維学会市民公開講演会実施報告

令和4年度市民公開講演会は、11月23日（水）に倉敷市にあるくらしき健康福祉プラザ（プラザホール）で、「食物繊維が紡ぐ健康長寿」をテーマに開催しました。新型コロナウイルス感染者数の増加傾向に加えて、当日は土砂降りの雨日となり参加者は約60名でした。講座①では、宮田（川崎医療福祉大学）より、「食物繊維の健康効果 今昔」と題して、食物繊維研究のこれまでや健康効果に対する認識の変遷について紹介しました。講座②では、青木孝文先生（川崎医療福祉大学）が、「腸内フローラを咲かせる食生活」と題して食物繊維と腸内細菌叢との関わりについて紹介し、便や症状の観察から自身の反応を確かめることの重要性について解説していただきました。講座③では、若狭麻未先生（くらしき健康づくり事業 管理栄養士）に「キレイの味方！食物繊維～倉敷市の食事お助け術」として、食物繊維の摂取増加につながる実践的なアドバイス等について、野菜の摂取増を推進する「3ベジ事業」（倉敷市）の内容を組み込んだお話をしていただきました。参加者からの多数の質問もあり、盛況な講演会となりました。近年、テレビなどで腸内細菌叢の乱れと生活習慣病等の発症との関係性がクローズアップされており、腸内細菌叢を整える食物繊維と健康長寿との関係性に対して市民の関心も高まっているようです。

開催にあたり、くらしき健康福祉プラザ様より会場提供等の多大なご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。（宮田富弘 記）

日本食物繊維学会 第27回学術集会報告

日本食物繊維学会第27回学術集会を終えて

第27回学術集会長 宮田富弘（川崎医療福祉大学）

日本食物繊維学会第27回学術集会は、2022年11月5日（土）と6日（日）の日程で、大妻女子大学を会場として開催しました。新型コロナウイルス感染症の蔓延が下火になりつつあるも終息には至らない状況であることから、本学術集会は会場での対面形式とともにリアルタイムでオンライン参加もできるハイブリッド形式での開催としました。費用を抑えるために自前で構築したシステムを用いたので不安を持ちながらの準備作業でしたが、青江誠一郎理事長には準備段階から多大なご協力をいただき開催することができましたこと、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症禍にもかかわらず、参加者数（事前登録+当日受付）は111名、うちオンライン参加者数は34名でした。多くの学会員や賛助会員の皆様に参加していただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

シンポジウムでは、「食物繊維研究の新たな広がり」をテーマとして4名の先生にご講演いただきました。岸田太郎先生（愛媛大学）には、「食物繊維によるエネルギー摂取低下とその機構」として、食物繊維の脳-腸軸への関与の可能性についてご講演いただきました。村上圭史先生（川崎医療福祉大学）には、「口腔-腸内細菌叢の関連と食物繊維の可能性について」と題して、腸内細菌叢と口腔内細菌との関連性や食物繊維がそれらに及ぼす影響についての新たな視点をご講演いただきました。矢野博己先生（川崎医療福祉大学）には、「食物繊維に運動で腸内細菌叢を...」と題してご講演いただき、運動免疫学の立場から食物繊維が免疫機能に及ぼす影響について多くの示唆をいただきました。河野麻実子先生（森下仁丹株式会社）には、「短鎖脂肪酸を含有した大腸送達シームレスカプセルの開発」として、自社で開発された大腸送達性を有するシームレスカプセルについてご紹介いただくとともに、短鎖脂肪酸を含有させることによる機能性についてご講演いただきました。

一般演題は18演題でしたが、座長ならびに演者、ご来場いただいた学会員が一堂に会した口頭発表となりました。久しぶりの対面形式であったこともあり、活発な質疑応答が行われ盛況な学術集会になりました。オンラインで参加された学会員の皆様にも、会場の活気が伝わったのではないかと思います。発表賞には8題のエントリーがあり、2件の研究が受賞されました。

懇親会の実施については、新型コロナウイルス感染症禍により開催の判断が遅くなり、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。当日受付のみとさせていただきますが、懇親会には約50名の方に参加していただきました。松谷化学工業株式会社様より例年好評のお酒類をご提供いただいたこともあり、感染防止ルールを守りながらも活発な交流や情報交換の場となりました。懇親会の開催にあたっては、飲食物やお酒の手配、会場設営等まで青江誠一郎理事長にご尽力いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

大妻女子大学の皆様、メディア・プロモーション・サービス様、賛助会員ならびに会員皆様のお力を得て、学術集会を無事終えることができました。ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

日本食物繊維学会 学会賞受賞者の紹介

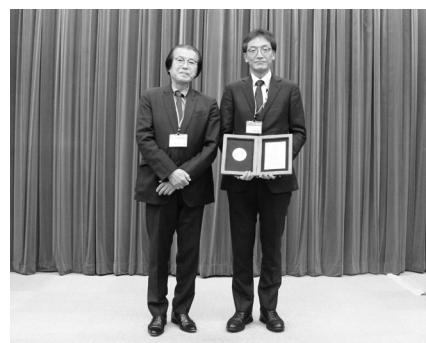
令和4年度の日本食物繊維学会・学会賞を受賞された比良先生にお祝い申し上げます。第27回学術集会におきまして、比良先生に青江理事長より賞状と盾が贈られました。なお、学会賞の副賞に支援を賜りました松谷化学工業株式会社に深謝いたします。

令和4年度 日本食物繊維学会賞

受賞者：比良 徹博士（北海道大学大学院農学院）

受賞研究

「ルミナコイドによる
消化管ホルモン分泌促進作用」



学会賞受賞者の比良先生（右）と
青江理事長

第27回学術集会発表賞受賞者の紹介

令和3年11月5、6日に大妻女子大学（東京）で開催されました第27回学術集会におきまして、発表賞に応募のありました演題の中から以下の2名が受賞されました。受賞された方々にお祝い申し上げます。

受賞者：仁科里佳子さん（静岡大学大学院）

一般演題 演題名

「難消化性グルカンによる小腸下部へのグルコース供給は
GLP-2 分泌を促し、ラット回腸粘膜を肥厚させる」

共同発表者（筆頭発表者が受賞者）

仁科里佳子¹、五藤智也¹、日野真吾²、森田達也²、西村直道²
（¹ 静大院・総合科学技術、² 静大・学術院）

受賞者：山口万柚子さん（北海道大学大学院）

一般演題 演題名

「24 ウェルプレート培養腸内細菌に対する
難消化性糖類添加の影響」

共同発表者（筆頭発表者が受賞者）

山口万柚子、逢坂文那、加藤英介、園山 慶
（北大院・農）



発表賞受賞者の仁科里佳子さん（中）、
山口万柚子さん（右）と青江理事長

日本食物繊維学会 令和4年度産学協議会の報告

令和4年度の産学協議会は、令和5年4月21日（金）に十文字学園女子大学よりWEB開催され、青江誠一郎理事長の開会挨拶に引き続き、2つの講演が行われました。

最初は、消費者庁食品表示企画課保健表示室課長補佐（特別用途食品担当）の斎藤雅文先生より「日本食品標準成分表の改訂を踏まえた食品表示基準の一部改正について」の講演を頂きました。講演では、栄養成分表示の義務表示、推奨表示、任意表示の解説と、これらの詳細が明記された別表等についての説明がありました。また、日本食品標準成分表の改訂と食品表示との関連、食物繊維の定量法であるAOAC2011.25法の解説と、この定量法が採用された経緯について説明がありました。栄養成分表示については、消費者庁がHPに公開している啓発に関する動画やガイドラインを利用し、正しい表示の教育や普及に努めてほしい旨のお話がありました。

次に、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部食品安全・機能研究室室長の東泉裕子先生より「国民健康・栄養調査の食物繊維摂取量の活用法について」の講演を頂きました。講演では、国民健康・栄養調査の実施方法およびデータ活用、日本食品標準成分表2020年版（八訂）改定における食物繊維に関する更新点、日本食品標準成分表2010年版（六訂）および2015年版（七訂）追補2018を用いて算出した食物繊維摂取量推定値の比較について説明がありました。まとめとして、①国民健康・栄養調査の食事調査方法の長所・短所を理解すること、②厚生労働省および国立健康・栄養研究所のウェブページに公開されている情報を活用してほしいこと、③日本食品標準成分表の食物繊維の分析方法の更新により、日本食品標準成分表2010年版（六訂）と比較して2015年版（七訂）追補2018では平均で3.0g（23.2%）高値を示したことが報告されました。④食物繊維摂取量は定量法の影響が大きいいため、摂取量の算出に用いられている食物繊維の種類や定量法を理解して活用することが重要であることについて説明がありました。

令和4年度産学協議会では、60名以上の申し込みがあり、当日は52名の会員ならびに賛助会員が参加して、質疑応答も活発でした。お忙しい中、ご参加を有難うございました。また、WEB配信ならびに運営にご尽力いただきました学会事務局の江戸クリエート株式会社ご担当者様をはじめ、ご関係の方々にお礼申し上げます。

（中村学園大学 田辺賢一，十文字学園女子大学 奥田明日香 記）

編集委員会より

ニュースレター No.55 よりニュースレターの担当を西村が担当することになりました。よろしくお願いたします。3年にわたるコロナ禍により学会活動も大きく変容いたしました。昨年度の学術集会では対面とオンラインのハイブリッド集会を開催することもでき、ようやく対面活動が戻ってきました。今後、対面活動の良さと、この3年間培ったオンライン技術の良さを融合し、より活発な学会活動が進むことを望んでおります。今年度で開催予定の第28回学術集会はもちろん対面形式での開催が予定されております。学術集会長は愛媛大学の岸田太郎先生が務められ、愛媛で開かれます。物価高により旅費交通費が気になるのですが、是非愛媛で食物繊維をはじめ、消化管生理等にかかわる栄養/食品成分の研究演題を発表していただきたく思います。愛媛で食物繊維や消化管生理について活発に議論しましょう。

(西村直道)

令和5年度会費納入のお願い

本学会における学術集会や公開講演会の開催、学会誌やニュースレターの発行などのすべての運営は会費に依存しております。令和5年度の会費納入がお済みでない方は、「令和5年度年会費」と会員番号をご記入の上、郵便振替でお振込みいただきますようお願いいたします。振り込みの詳細については、学会ホームページ「年会費」に記載されております。なお、会員番号は本学会からの封筒の宛名ラベル右下に印字されております。

令和5年度年会費

正会員	8,000円	学生会員	2,000円
団体会員	10,000円	賛助会員	70,000円(一口)

卒業・就職などで学生会員でなくなられた方は同封の会員名簿変更届けにてお知らせください。

会員状況：令和5年5月1日現在

●会員数	207名	(学生会員	14名)		
●賛助会員	44社	●団体会員	7団体	●名誉会員	3名

【賛助会員】

株式会社 ADEKA
伊那食品工業株式会社
イングレディオン・ジャパン株式会社
塩水港精糖株式会社
王子コーンスターチ株式会社
大塚食品株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社荻野商店
株式会社カーギルジャパン
カルビー株式会社
株式会社サナス
サンエイ糖化株式会社
三和澱粉工業株式会社
CMC工業会
株式会社 J-オイルミルズ

清水化学株式会社
ジャパンフリトレ株式会社
昭和産業株式会社
住友ファーマフード&ケミカル株式会社
全国精麦工業協同組合連合会
太陽化学株式会社
ダニスコジャパン株式会社
帝人株式会社
株式会社東洋新薬
永倉精麦株式会社
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社日清製粉グループ本社
日清ファルマ株式会社
日本甜菜製糖株式会社
日本ケロッグ合同会社

日本食品化工株式会社
日本バイオコン株式会社
ネキシラ株式会社
株式会社バイオジェノミクス
株式会社はくばく
株式会社林原
株式会社ファンケル
フジ日本精糖株式会社
富士フィルム和光純薬株式会社
松谷化学工業株式会社
株式会社マルヤナギ小倉屋
雪印メグミルク株式会社
レッテンマイヤー・ジャパン株式会社
ロケットジャパン株式会社
(五十音順)



日本食物繊維学会

Newsletter No.55

発行日：2023年5月31日
発行人：(一社)日本食物繊維学会理事長 青江誠一郎
編集人：早川享志、西村直道
印刷所：江戸クリエート株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
コア本郷ビル

(一社)日本食物繊維学会事務局
江戸クリエート株式会社内
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
コア本郷ビル
E-mail: jdf.office@luminacoids.jp
TEL: 03-3814-1225 Fax: 03-3814-3215
URL: <http://jdf.umin.ne.jp>